Ot By ord

NPO法人 みどりのゆび

会報 2020年 早春号





2019年3月~12月の活動記録 2020年1月以降のイベント情報



新しい年を迎えて

理事長 高見澤 邦郎

フットパスとは「みどりに触れることを喜び、かつそこでの暮らしに共感する」活動かなとぼくは考えています。そんな活動はきっと街なかでも応用できますよね。もちろん我が "みどりのゆび" のホームグラウンドは小野路地域などですが、中心市街地を歩いて街並みを楽しみ、お店の方と言葉を交わすような企画も試みてきました。そこで、2月8、9日に町田市で開かれる日本フットパス協会設立10年記念イベントに"みどりのゆび" が協力して、〈小野路、鶴川などの里山と街なかを繋ぐ〉を実施します。きっと面白く歩けると思いますので、是非ご参加願えれば。

さて、新しい年もフットパス活動を充実していきたいと考えています。とはいえそのためには、しっかりした広報や参加希望の方々への的確な対応などが必要なことは言うを待ちません。今年はホームページを刷新するなどの改善を図っていきます。しかしまったくのボランティアによる事務局体制ですからいろいる対応しようとしても限界もあります。会員の皆さんには「お客様」ではなく、チームの一員としての意識を持っていただければと思うことしきりです。またイベント企画についても、「会員の皆さんそれぞれが提案し実施する」方式をこれまで以上に大事にしたいと考えておりますので、多くの企画をお寄せください。

といったことでお願いばかりですが、本年もどうぞ よろしく。

日本フットパス協会設立 10 周年記念 町田大会

高見沢理事長のお話にもありましたが、2020年2月8日、9日に上記イベントが行われます。みどりのゆびは、その実行委員となっており、8日のシンポジウムと9日のまちだフットパスウォークにかかわっております。

会員の皆様には、是非、このイベントへの参加、またはお手伝いをお願いします。詳細は添付の告知をご覧ください。参加、もしくはお手伝いをしてくださる方はみどりのゆび事務局までご連絡ください。

8 日には 10 周年を記念するシンポジウムが行われますが、目玉は全国から集まってくるフットパスの現場の声を拾い上げるトークショーです。この 10 年でフットパスの数は全国で 700 ほどに増えました。フットパスを取り入れて、まちづくりに成功している若い人や移住者が増えました。その成功には成功する人のタイプやノウハウがあります。それを体で感じとってください。

なお、9日のウォークは以下の通りです。

A:町田商店街・老舗と歴史の道・鎌倉街道&絹の道 講師:歴史古道研究家 宮田 太郎

B:鶴川の名家・今も残る里山の中の古民家回廊 講師:鶴川インバウンドを考える会 陶山 慎治

C:東京都指定名勝・薬師池/七国山の里山めぐり 講師:NPOみどりのゆび 田邉 博仁

D: 三輪・白洲正子の愛した散歩道

講師: NPOみどりのゆび 桑原 秀夫

E:日本の里 100 選に唯一東京から選ばれた里山・小野

講師: NPOみどりのゆび 吉森 実

皆様のお越しをお待ちしております。









フットパスイベント

東京フットパス 赤坂

5月26日(日) 天気:晴 参加者:15名 赤坂から六本木までは岬で、その頂点が東京タワー、 その東側の東京は全部海の中だったのをご存知です か。

今回はそれを確かめる「ブラみどり」。

なんで赤坂(元は茜坂)が名前の通り坂が多いか、 溜池が海だったこともこれでよくわかります。 元NH Kの電波塔があった愛宕は岬の突端でした。

そして東京の地形のお決まり。丘の上の高台には武士、寺、のお屋敷町、そして谷に庶民の住宅地、その間を繋ぐ傾斜地に神社。昔から山の手にはセレブが住んでいたのですね。勝海舟は赤坂の中で3回、一ツ木の川底にあった貧乏家から氷川神社の坂途中、そしてアメリカ大使館宿舎のある高級住宅地へと階級が上がるにつれて家を変えています。

時代が変わっても高台は、大企業やホテルのセレブ に取って代わられ、赤坂から、アカサカサカス、氷川 神社、ホテルオークラの3つの尾根を縦走すると、東 京タワーに着きます。

増上寺も愛宕から続く岬の高台の上にあります。この岬いっぱいに増上寺が有していた敷地が広がり、戦後は貴族や寺の敷地を買いあさっていた西武の堤康 次郎の持ち物となり、プリンスホテルとなりました。

帰りは六本木の鳥居坂上にある岩崎小弥太邸、国際

文化会館でお庭を楽しみながらお茶で打ち上げを。帰りかけたら、ちょうど六本木を来日したトランプ大統領が通るところで、面白いオマケがついた1日でした。

<以下「みどりのゆび」facebook ページに掲載された感想>

久しぶりの東京フットパス。炎天下でしたが、ビル群が里山の雑木林のように木陰を作り、風もあり、比較的快適でした。2万5千歩(17.5km)、コンクリート道路歩きで、足の裏が痛くなったが、でも、▲2540kcal でダイエットかな?

神谷さんガイドの東京フットパスです。赤坂見附、東京タワー、六本木あたりは縄文海進時代は海岸線であった。地理院のデジタル地形図と現代の地図を照らし合わせながら街の変遷を振り返る東京フットパスです。台地と低地の港区には、坂が90近くもあり、昔の人が名付けた坂の名前も面白い。高台の元大名屋敷や旗本屋敷跡は、現在は、邸宅、外国大使館、ホテルやショピング街へ大きく変遷しています。赤坂見附から赤坂氷川神社、愛宕神社、東京タワー、増上寺などへの道を楽しみました。トランプ大統領来日の厳戒警戒のなかのフットパスでした。(田邊博仁)

(神谷 由紀子)





Copyright(c) Shibamoto Sou/Yamamoto Nobuyuki





愛宕神社の下は海だった

氷川神社の尾根





ーツ木通りは川底だった

東京タワーは岬の上





増上寺

ワインの醸造所を巡って 勝沼フットパス

6月2日(日) 天気:晴 参加者:6名 講師:室伏 徹 (山梨県考古学協会事務局長)

1) 宮光園

晴れた朝、09:45 勝沼ぶどう郷駅にめいめい集合。 駅からタクシーに分乗し下岩崎の「宮光園」に直行。 勝沼フットパス中村氏、三森氏からご挨拶があり、今 は葡萄摘果作業で超繁忙期のため、代りに元役場職員 で現在考古学協会事務局長を務められている室伏氏 に案内を依頼したとの説明を受けた。

宮光園は日本における近代ワイン醸造販売の先駆者である宮崎光太郎氏の住居。元は雄壮な養蚕農家建築ながら昭和初期に二階は洋風改築され、ワイン醸造と葡萄園観光の拠点として、戦前は皇族も訪れることもあったほどで、経済産業省から近代化産業遺産の指定を受けている。

明治初期、大久保利通が提唱した殖産興業政策の下、 甲府盆地東部では伝統的養蚕業に加え、文明開化に相応しい新産業として藤村紫朗県令はワイン事業を鼓舞奨励した。明治 10 年祝村に設立された葡萄酒会社から高野正誠、土屋龍憲の2名がフランスのシャンパーニュ地方に派遣され、多角的なワイン醸造業を学んで1年半後に帰国した。彼等を待ち侘びていた宮崎光太郎他の篤農家と共に本格的ワイン醸造を開始したが、ワイン事業は順調には進まなかった。地元住民も祭礼時はもとより日常的に一升瓶ワインを飲んで協力するが、甘味ワインは売れても本格的ワインの商業的成功は、第二次大戦後日本の経済成長を待たなくてはならなかった。戦時は葡萄は潜水艦音波探知機製造用の酒石酸抽出用となり、ワインは絞りかすを使う有り様で品質を落とした。

また、宮光園に残されていた宣伝映画用 35mm フィルムから最近編集された DVD は、葡萄栽培から醸造、樽輸送、壜詰、販売に至る往時のワイン業の流れが分かる貴重な映像資料で一見の価値あり。役場時代、この映像制作にも携わられた室伏氏から詳細に解説していただいた。

2) ワイン資料館

宮光園の向かいに明治 37 年建造された宮崎第二醸造所は、洋式木造トラス構造と和風漆喰なまこ壁を有する和洋折衷の建物で、現存する日本最古のワイン醸造所である。今は近代化産業遺産に登録され、改装されてシャトー・メルシャン・ワイン資料館として公開されている。

我々は幸いにも前シャトー・メルシャン醸造長の上野 登館長に、時間を掛けてゆっくりご説明いただいた。宮崎光太郎が白蔵(白ワイン醸造所)として建設した建物内部では映像紹介があり、写真を中心に解説文も見易いパネル形式で掲示されている。展示物は蝋栓された明治のワインを始めとして、竹編みの葡萄収穫篭、木造の破砕器、醸造樽、貯蔵樽、その他醸造器具類が並ぶ。半地下貯蔵庫には大樽が並べられ、その外

には水路や水車装置も残されており、写真で見た当時 の法被姿作業員が醸造所の内外で忙しく立ち回る姿 が目に浮かんで来る。また、今や欧州にも輸出される に至った当地甲州種白ワインの原点を垣間見た思い がした。

3) メルシャン・ワインギャラリー

宮崎光太郎のワイン事業は、大黒葡萄酒からオーシャンを経てメルシャンへと引き継がれ、メルシャンは現在キリン・グループ傘下に入り日本における最大生産量ワインメーカーとなっている。

資料館の横にはガラス張りのシャトー・メルシャン・ワインギャラリーが建てられ、ワインの試飲や土産物を購入出来る。

皆が買い物をしている間に、小生は高価で普段飲めない北信シャルドネ MH2015 を試飲した。品質に拘った純国産ワインである。上品な酸味によって裏打ちされた清涼な香りと鋭いミネラル感に日本の高級白ワインらしい好印象があり、季節の和食や海鮮イタリアンと合わせてすいすい飲みたい。

4) 慶千庵

昼食は日川を渡って直ぐの古民家改装食堂で、甲州 名物ほうとうをいただく。静かで落ち着いた雰囲気の なか、出て来るのは早いものの具はしっかり煮込まれ ており、自家製味噌を使用した何だかほっとする味わ いを楽しんだ。

5) 護念寺

戊辰の役、勝沼の戦いで戦死した官軍側鳥取藩士某の墓に参る。近藤 勇に率いられた新撰組、穢多非人、多摩農兵の混成部隊から成る訓練不足の幕府軍は、山梨一町田中の戦いで板垣退助、谷 干城率いる官軍に容易く破られる。勝沼柏尾で態勢を立て直し対峙したが、相次ぐ脱走で兵力の数、質とも相手にならず1時間程度戦闘した後、早々と江戸へ敗走した由。(室伏氏)

6) マルサン葡萄酒

旧甲州街道沿いにある家族経営の小規模地元ワインメーカーである。試飲すると昔懐かしい地元葡萄酒の味がした。地元住民御用達の一升瓶入りワインも出している。

秋なら庭の葡萄棚から摘み取った生葡萄も食べられそうな、農家然とした雰囲気が楽しい。

7) 旧田中銀行

明治 31 年勝沼郵便電信局舎として田中家によって 建てられた藤村式偽洋風の木造建築であり、土蔵、繭 蔵を含めて近代化産業遺産に登録されている。郵便局、 銀行、住居として順次改装しながら活用された後、今 は勝沼町に寄贈されて博物館として公開されている。

銀行時代は繭や米を担保に農家に融資したようで、 産品出荷所としても機能していたため蔵が複数あった。本館は組石造り風の漆喰壁や木目調のペンキ塗り 扉など、模造の域を超えた素晴らしい職人技に驚いた。

8) 原茂ワイン

原という地名と当主の世襲名、茂左衛門から名付け られた大正 14 年創業の小規模メーカー。現当主が同 業若手経営者研究サークルの中から得た新しい経営 手法で、醸造技術を向上させると共に古民家改装ワイ ンギャラリーやカフェを開設した。その結果、近代的 で魅力あるワインを醸し、ワインツーリストが喜ぶワ イナリーに脱皮している様子に感心した。

ご当地甲州種によるシュールリー製法ワインは、リ ーズナブルな値付けと先行メーカーと遜色ない品質 で、しっかりした酸味が日々の和食を豊かに彩ってく れそうである。

9) 縁側茶房

当初は続いて公営「ぶどうの丘」を訪ねる予定であ ったが、時間的に厳しくなり勝沼ぶどう郷駅に向かう。 狭い古街道を通り抜け葡萄畑に挟まれた坂道を登っ て行くと、築 150 年の古民家を改装した「縁側茶房」 があったので一休み。人気のぶどうピッツァに心惹か れたが、時間がないためホットコーヒーで一服。

10) 快速ビューやまなし

冬季を除く土日祝日に2階建て215系で運行される 快速電車。幸いにも2階自由席に座れ、歓談している うちに立川に着いた。

(合田 英興)

青森で最初のフットパスは?

7月2日(火) 天気:晴 参加者:1名 また1つ素敵なフットパスをご紹介します。青森市 です。東北は最近あちこち繋がってきてるようですし、 北海道からも近いので、皆さんここにも是非行ってあ げてください。

7月3日、青森大学の小山内誠先生の授業で話をさ せていただきました。その前日、幸畑地区という、青 森市でも関心度の高い地域の中でのフットパスコー スの候補地を見せていただき、夜には小山内先生の率 いるNPO「ういむい未来の里」の主要メンバーの 方々との意見交換会にも参加させていただきました。

フットパスはやはり行ってみなければわからない ものです。観光では、青森のねぶたはあまりにも有名 ですが、そのほかの季節では弘前や八戸に押され気味 の感もあります。しかし、青森に降り立った途端、空 気の清涼感、まちの清潔感、そして驚いたことに行き 交う人はじっちゃばっちゃではなく皆おしゃれで、ま ち自体も上品と、来なくてはわからない実感でした。 戦火で古いものは全焼したとのことでしたが、戦後の 昭和的建造物がかなり残っており、アーティスティッ クな新しい建物と相俟ってクールでありながら暖か なまちでした。

実は、青森はあまり人には教えたくない"住んでみ たら最高"のまちで、東京などからの移住者も結構多 いのです。青森市を地形地図で見てみると、下北半島、 津軽半島、岩木山、八甲田山などに囲まれた大パノラ マで、その中で青森市は湾の中央に密着した平地とい う好条件にあります。まちから観光地のどこに行くに も 30 分ほどで行けるそうで、一泊二日でかなり満足 度の高い旅になるようです。「三内丸山遺跡」も15分 圏内です。ちなみに三内丸山は縄文の昔には海岸の崖 っぷちでした。だから遺跡も残るのですね。こんな地 形なのでもちろん食べ物も大変豊かで、しじみは十三 湖から、白魚は小川原湖からと魚の種類は多く、果物 もりんご、さくらんぼ、カシスまで、ネマガリタケ、 ミズなど山菜もあります。

青森市で最初のフットパスの候補地は、青森大学 のある幸畑地区です。青森市郊外の少し小高く緑の多 い地域で、リンゴ畑の中を縫っている小径、ふくろう やサンショウウオなど貴重な生物の住む森、7月にフ タリシズカやヒメアオキのある涼しい林、陸奥湾の見 える丘、岩木山、八甲田山の見える商店街と、なかな かバリエーションに富んだ青森らしさのあるコース です。今度は町田のチームとゆっくり伺いたいと思い ます。

(神谷 由紀子)





リンゴ畑



青森大学での講演



ねぶた館









春日神社

青森の植生

ふくろうの森





市街

朝の市場



ういむいの会

二人の文豪(武者小路実篤と徳富蘆花)の 住まい跡の公園を歩く

7月13日(土) 天気:曇 参加者:8名 講師:田邊 博仁(みどりのゆび)

小田急線成城学園駅からスタート。成城の街並み歩きを楽しみ、さらに、国分寺崖線に沿って、緑多い素敵な小径を歩きます。そして、調布へ入り、「雑木林のみち・調布若葉町コース」を進みます。実篤は、水のあるところに住みたいという子供の頃からの願いどおり、70歳の時に仙川の地へ居をかまえ、90歳で亡くなるまでの約20年間を過ごしました。国分寺崖線の傾斜地に沿って建てられた邸宅は、できる限り実篤が暮らした当時のまま保存され、戦後の和風住宅の好例として国の登録有形文化財に指定されています。

次に、蘆花恒春園を訪ねました。明治・大正期の文豪、徳富蘆花が、39歳のときに晴耕雨読の田園生活を営むため、当時まだ草深かった千歳村粕谷の地に土地と家屋を求め、「恒春園」と称します。58歳で亡くなるまでの約20年間を過ごしました。武蔵野の風景を保存した公園内に、約100年前の明治の文豪の旧宅(都史跡)がよく保存されていました。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 7 月 14 日をご覧ください。



成城の街並みを歩く



実篤公園前にて



徳富蘆花の旧邸母屋前にて



蘆花が愛した武蔵野の旧邸

スミレ博士・山田隆彦先生と歩く 青梅丘陵、秋の草花観察フットパス

10月6日(日) 天気:薄曇 参加者:6名 講師:山田 隆彦(日本植物友の会副会長)

草花をゆっくり観察しながら歩く楽しいフットパスです。講師は日本植物友の会副会長山田隆彦先生。今回は秋の青梅丘陵を歩きました。青梅丘陵ハイキングコースを JR 青梅駅から宮ノ平駅まで。ハイキングなら約1時間半のコースを、道端や森の草花を見たり、草花にまつわる興味深いお話を聞いたりしながら、ゆっくりと、歩く途中、昼食をはさみ、約4時間かけて

歩きました。途中で観察した主な植物名:アレチヌス ビトハギ、カラムシ、キヅタ、アカメガシ、センニン ソウ、ヒヨドリジョウゴ、ミズヒキ、ハナタデ、ナキ リスゲ、オトコヨウゾメ、ササタケ、キツネノマゴ、 ササクサ、シロヤマギク、オオハナワラビ、ユウガギ ク、ノコンギク、ガンクビソウ、オオバイノモトソウ、 マユミ、ゴンズイ、コセンダングサほか。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 10 月 8 日をご覧ください。



永山公園にて植物観察



地層が露出した道



狭い尾根道



麓近くでオニグルミの実の説明

小野路宿里山交流館イベント 秋の里山フットパスガイドウォーク

10月16日(水) 天気:曇 参加者:23名 講師:田邊 博仁(みどりのゆび)

みどりのゆびと共催で、春と秋に行っている恒例の イベントです。今日(16日)は22名のご参加をいた だきありがとうございました。町田市内のいろいろな ウォーキングでお顔を見た方が何人かいらっしゃり、 会話が弾み、楽しいフットパスでした。午前は、「小野 路宿コース」で別所バス停からスタート、布田道を歩 き、ムクロジ(セッケンノ木)の落ちている実を拾い 石鹸水作成の実験にみなさま感激、お孫さんに見せた いと実をお持ち帰りの方々も。ここは、多摩ニュータ ウンと町田の住宅街の空間にぽつんと取り残された 多摩丘陵です。おかげで、のどかな里山風景が広がり 歩いて気持ちの良い小径となっています。一本杉公園 でトイレ休憩。町田には国内有数の古街道遺跡群があ ることを「多摩よこやまの道」の案内板でご説明。旧 鎌倉街道を小野路宿まで歩いて、その雰囲気を体験し ていただいた。小野路宿里山交流館で館長のお話とう どん定食とコロッケをいただく。午後は、「小野路城コ ース」を歩く。令和に建立された「草木塔」と六地蔵 を見て、小町井戸と小野路城址、素敵な雑木林を抜け て、稲穂の実った「奈良ばい谷戸」で折り返す。バス の時間がせまり、帰りは小野路バス停へ早足で戻り、 急がせて大変申しわけありませんでした。桜咲く春の 頃にも小野路フットパスをお楽しみください。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 10 月 19 日をご覧ください。



十月桜の咲く布田道を歩く



実を拾い天然石鹸水作成実験



館長より交流館の話を伺う



小野路宿里山交流館長屋門前

全国フットパスの集い 2019 in 但馬

10月25日(金)、26日(土)、27日(日) 参加者:3名

日本フットパス協会の発足10周年を記念した総会。 全国各地で活動するフットパスのグループが集まって、今年は兵庫県北部の但馬地域・豊岡で全国大会が開催されました。私たち町田市の「みどりのゆび」からも3名が参加。二日間にわたって、開催地の魅力を体験するフットパスウォークや活動発表などで交流を深めました。25日、横殴りの大雨の中東京を発ったわたしたちは、「奥播磨夢倶楽部」のお誘いでJR 姫路駅に集合し、熊本美里町で活動する「フットパス研究会」のメンバーと合流。一路「道の駅播磨」に向かいました。

◎播磨一宮風土記の里

10月25日(金)午後 天気: 曇道の駅の向かいにある播磨一宮(伊和神社)は周囲を杉や檜の巨木に囲まれ、まさに幽玄の世界。564年土地の豪族、伊和恒郷によって創建されたと伝えられ、最近ではパワースポットとして若者たちにも人気とか。縄文・弥生時代の土器が出土した伊和遺跡や周囲約20mもあるお椀を伏せたような一ツ山古墳、神福寺など、歴史あるコースを歩き、昭和の中頃まで使われたという全長約40m、人力で落ちれば架ける「名畑の流れ橋」のある広大な景観をゆっくり楽しみました。

余談①: 雨上がりの落ち葉の道は滑りやすく怖い。 ただ陽が当たると景色が柔らかくなる。また、高い山 の中腹に雲のような白い流れが浮かび、なんとも美し い光景でした。

余談②: そうめん「揖保の糸」。大きな会社で製造しているのではなく、揖保川が流れるこの地域の個人の家で作るそうめんを総称したブランド名だとか。

余談③: 神福寺でお茶の接待を受けました。駐車場に設けられたトイレが素晴らしかった。車椅子マー

クが付いた「誰でもトイレ」の左右に男性用と女性用があり、「立派なトイレですね」と言うと「これからの時代、ああいう形じゃないと~」と嬉しいひとこと。

◎大石りくが暮らしたまちを歩く

10月26日(土)午前中 天気:雨 JR 豊岡駅に集合し、2班に分かれて行動しました。 豊岡は忠臣蔵で知られる大石内蔵助の妻りくのふる さと。りく女が暮らした城下町の面影を求めて、神武 山や豊岡藩京極家陣屋跡などを巡りました。一方では 北但震災(1925年に発生の大地震)復興建築群のレト ロでモダンな鉄筋コンクリートの建物が今に使われ ていたり、カバンの自販機まであるカバンストリート を歩いたことが面白く、印象に残りました。豊岡が古 くからの鞄生産地であることを初めて知りました。

◎フットパスフォーラム

10月26日(土) 午後

日本フットパス協会が発足して 10 周年ということで、協会会長の挨拶などに続いて「フットパス協会の10年 そしてこれから」と題してわが「みどりのゆび」の会員でもある尾留川さん他2名の方が提言しました。「地域が疲弊するからブームにしない」というメッセージは説得力がありました。各地の若手による熱心な活動報告も頼もしいかぎり。協会が作られるきっかけや歴史などを知ることができたのも有益でした。

余談:フォーラムの後の交流会会場では以前の「フットパスの集い in 中間」でお世話になった「いもり谷」の方にお会いすることができ、懐かしくお話できました。地元名産の但馬牛、紅ズワイガニなどの料理、地酒の試飲も人気で大いに盛り上がりました。

◎志賀直哉の歩いた道「城の崎」にて

10月27日(日) 天気:雨

JR 豊岡駅駐車場に集合。まずはコウノトリが生息することで知られる戸島湿地付近までバスで移動し、その後、城崎大橋を渡った対岸の城崎温泉を目指して歩こうというコースです。

この日は生憎コウノトリの姿は見られませんでしたが、昭和 46 年、ここ豊岡を最後に日本の空から姿を消したコウノトリの人工飼育に成功。現在は 100 羽を越えるコウノトリが豊岡を中心に、日本の空を舞っているそうです。一面に広がる豊かな湿原はラムサール条約に登録され、希少な動植物が生息する環境として保全されています。

城崎温泉は文豪志賀直哉の「城崎にて」で知られる 日本有数の温泉街。湯治場としての歴史は約 1300 年 前に遡り、温泉街を流れる丸山川の両岸には枝垂れ柳 や桜が趣を添えています。古来、文人墨客に愛された 温泉街の各所にある文学碑や城崎文芸館、直也ゆかり の旅館「三木屋」、展望露天風呂で人気の外湯「さとの 湯」など、雨のなかを散策する観光客で賑わっていま した。7つの公衆浴場を巡るフットパスも、ここなら ではの楽しみかもしれません。

降り続く雨の中、JR 城崎温泉駅から特急こうのとり で帰途につきました。

(新納 清子)



名畑の流れ橋





正福寺・内側には市立図書館

レトロな復興建築が残る商店街





カバンの自動販売機

看板建築や飾り窓イメージの豊岡市役所







ふれあい公設市場

城崎温泉丸山川の畔

温泉寺





直哉ゆかりの「三木屋」

城崎温泉「さとの湯」

信夫山(しのぶやま)を中心に 活気づく福島フットパス

11月1日(金) 天気:晴 参加者:3名 福島市のフットパスに来ました。メンバーは、長井 市の浅野さんとみどりのゆびから横山さん、佐藤さん と私の3人。元市役所観光課職員だった NPO「ストリ

ートふくしま」理事長の水口さん以下、観光第一線の 皆様の歓迎を受けました。今、福島で非常に感性の高 いフットパス作りが進行しています!

福島市内に信夫山という山があります。よくある観 光地なのかなと思っていましたが、この山 LOVE ひと 筋の、しかも東京からわざわざ移住してきたようなフ ァンの会ができるほど、深い魅力が尽きない山なのて す。信夫山は駅から車で15分、歩くと小一時間。周囲 はちょうど皇居一周と同じ長さの山で、福島盆地が陥 没してできたときに真ん中に残った珍しい残丘です。

歴史も古く飛鳥時代に天皇継承争いに破れた皇子 と母皇后が信夫山に逃げ延び、羽黒大権現と黒沼大明 神として祀られたという言い伝えがあるほど。地形的 にも3つの三角点があるように面白く、あちこちの展 望台から見えるまちの眺望はジオラマのようです。ま た、山伏も訪れた信仰の山でもあります。

羽黒大権現直下で傾斜 35 度の参道は急峻な登り道 で、こんな高所に六供(ろっく)と呼ばれる悲劇の皇子 のお供の人々が開いた集落が今でも存在しています。 振り返ると絶景の見える急坂を、軽三輪に乗ったやん ごとなき子孫のおじいさんがスイスイ上り下りしな がら農作業をしていました。各家の屋敷神が祀られる 小宮もそれぞれに立派なもので、飛鳥の空気が漂って います。これが福島市街の真ん中にあるのです。

懇親会でも、「福島は大事なものを皆捨ててきた」と いって、古いものを壊し開発を進める福島の姿勢を憂 い、活性化策に熱弁を奮う皆さんを見ていると、福島 にはこれだけセンスのある人材の層の厚いことが何 にもまして宝だと思いました。

2日目は、福島市内コースです。福島市内のコース 作りやマップはとても良くできています。「長崎さる く」から学ばれたということですが、フットパスの観 点からもきちんと要点が押さえられた高度なもので す。待ち合わせ場所は福島市出身の作曲家古関裕而の 彫刻の前。ちょうど来年の朝ドラ「エール」の主人公 だそうで、これで福島もまた観光が進むでしょう。

福島市は駅の東側に繁華街が広がり、昭和風のレト 口な建物がある路地がいくつもあり、駅からまちのコ アである福島稲荷神社までの往復小一時間で楽しい まち歩きができます。日本銀行の支店(!)は昔はレン ガの建物だったようです。

その繁華街がきれて阿武隈川に接する辺りに県庁、 昔の福島城の跡があります。城跡に立つと目の前に雄 大な阿武隈川が流れ、城主は毎日素晴らしい眺望を堪 能したことでしょう。また舟運の要衝でもありました。

福島は昔は「杉の目」「杉の妻」と言われていました。 「杉」は川が氾濫した土地のことで、「目」「妻」は境 目という意味らしいです。東に阿武隈川、南に荒川に 囲まれているので頷けます。

「杉の目」を「福島」に変えたのは木村吉清という 織豊時代の領主でした。大阪の淀川の河口の三角州に 福島というところがあり、やはり三角州にあった杉目 城を福島城と改めたと言われています。

福島城の郭の周囲には、尾根道である奥州街道があ

り、福島城は阿武隈川、荒川、そして奥州街道の尾根 道に守られた城だったようですが、さらに郭の周囲に は福島稲荷神社を中心に立派な寺も散在しています。

福島稲荷神社を置いたのは安倍晴明といわれ、福島 城や福島稲荷神社のちょうど北に信夫山があり、風水 的なものも感じます。大きな鳥居は明治神宮の御下が りということで、古代から朝廷との繋がりも深いよう です。

午後は、震災で心に傷を持った人々のために、園内 でイベントを催したり、「森のガーデン」というフルー ツパーラーを作ったり、故郷愛を強力な活動の源にし ているリンゴ園に行きました。

何万個(?)あるかわからないリンゴの一つ一つを、 日が当たって全体が赤くなるように面を少しづつ動 かしたり、日陰を作る葉っぱを取ったりというような 細かな作業を毎日繰り返して、日本の立派なリンゴが 作られているのです。果樹園もこういう生の話が聞け るとイキイキ見えてきます。

福島も、この前行った青森も、感性が高くてキラキ ラして、こういうまちが日本のあちこちにある日本の 未来は明るいと思いました。



信夫山には3つの三角点



信夫山のフットパスコース



山頂は神々しい



頂上には飛鳥の里が残る



ふくしまをいいまちに



充実したまちあるきのマップ



来年の朝ドラは古関裕而



福島城址



福島城の前には阿武隈川



杉乃妻大仏 到岸寺



町の要:福島稲荷神社



リンゴ園は復興の希望

白洲正子が暮らした「武相荘」と 鶴川発見ツアー

11月10日(日) 天気:晴 参加者:8名 町田の中心街と里山をつなぐコースを開発しよう という大きな目的のもと、この日は小田急線鶴川駅北 口からのスタートです。駅からほど近い町田市能ヶ谷 旧白洲邸「武相荘」から多摩丘陵の尾根を歩き、真光 寺公園まで。途中の寄り道を楽しみながらのコースで

バスロータリーから鶴川街道を渡ると、旧道を右に 入る間もなく緑に覆われた広大な香山園(かごやまえ ん)の門前に出ました。奥深い園内に視線を注ぐも、 生憎閉鎖中! 地域の名家神蔵家が明治 39 年に建て た書院造りの「瑞香殿」と池泉回遊式庭園が残ってい て、現在は町田市が活用方法を検討中とのこと。20年 ほど前に見た豊かな水を湛えた池や樹木の庭園の記 憶が蘇ります。

それではと香山園に沿う路地の坂を、目指すは今や 町田・鶴川の文化的象徴と評判の旧白洲邸「武相荘」 へ。道沿いの竹林が美しく、途中にはお稲荷さんを祀 った小さな祠が風情ある佇まいです。さて尾根を越え て急坂を下ります。途中、ちょっとの寄り道で、山の 版画家畦地梅太郎の住まいとギャラリー「あとりえ・ う」や鍋島焼のギャラリー「まつら」が。畦地は山岳 風景と山男をモチーフにしたユーモアと温かみのあ る作風で、プリントされた T シャツなどのグッズも人 気です。周辺の落ち着いた住宅街は、生垣に咲いたサ ザンカの花や早くも色付いたキヅタ、クサギの鮮やか な赤い実が目を楽しませてくれます。

いよいよ「武相荘」入り口に到着です。豊かな雑木 林を季節の山野草が彩る小高い庭園を、散策路が正面 に回り込んで旧白洲邸に誘います。ちょうど開催中の 骨董市を楽しみ、ランチまでをゆっくり過ごすことに しました。

美術評論家・随筆家として知られる白洲正子(1910 ~1998)、実業家・官僚として歴史に名をとどめる白 洲次郎(1902~1985) 夫妻が、町田市能ヶ谷のこの地 に農家を買い取り移住したのは昭和十七年。明治初期の建築と推定される寄せ棟造りで東側妻面兜造りの重厚な茅葺き屋根の主屋と、カキ、シラカシなどを配した広い庭の佇まいは、ここ多摩地域の養蚕農家の面影をいまに伝える貴重な文化遺産です。建家内部は囲炉裏や太い梁、大黒柱などのある構造を原型に近い形で残しながら、白洲夫妻ならではの審美眼に適った品々を取り入れたライフスタイルが忍ばれる、レストランやカフェ、ショップも備えたミュージアムという形で公開されています。

室内には愛用の骨董や着物、アクセサリーなど、正子の生活を彩った品々、また小林秀雄や青山二郎、川上徹太郎など、そうそうたる文化人たちとの親交を物語る著書なども展示されています。

ちなみに、「武相荘」とは武蔵と相模の境にあるこの地に因んで"無愛想"をかけた次郎による洒脱味ある命名。"美の求道者"と称される正子が古い民家や暮らしの什器などに限りない価値を見出して、今もここ鶴川の地に発信してくれる場があることに、感謝せずにいられません。終戦直後は家から鶴川駅へ続く田圃道がよく見えたと著書「鶴川日記」にも書かれている風景は、今やすっかり新しい街並みに変わって時代の趨勢を思わせられます。

さて賑わう骨董市の人波をかき分けてランチを堪能した一行は、鶴川街道に出て鶴見川を渡り、鶴川平和台団地方面に。並木のハナミズキが赤く色付き始めた坂道を上がると、左手に築150年といわれる茅葺き屋根の古民家が見えてきました。前庭には稲藁が干され、往事の農家の佇まいですが、現在はレンタルスペースとして活用されているということです。ここ鶴川では古民家がフットパスのポイントとして人気で、鶴川駅から柿生に向かう街道添いにも築150年の茅葺き古民家「可喜庵」があります。鈴木工務店の当主が代々受け継いで来たもので、先々代当主は香山園の書院造り「瑞香殿」の棟梁。建築家でもある現当主が守る可喜庵は、古民家ならではの快適な暮らしの研究の場にもなっています。

平和台から先、鎌倉街道早ノ道は川崎市と町田市との境界尾根で、その昔急使が早馬を走らせたと考えられる道です。道なりに民家の並ぶ尾根道を行くと、左斜面に広袴神明社がケヤキの大木やヤマザクラに護られるように佇んでいました。創建の年代は明らかではないものの、江戸時代の嘉永7年(1854)の「村差出明細帳」に「明神社」という記述があり、天照天神を祭神とするその歴史を伺うことができます。

いささか重い印象の神明社を過ぎると途端に眺望が開けて気分一新。左眼下前方には鶴川団地の向こうに大山、丹沢山地が広がり、雪化粧した富士山も頭を覗かせています。そのまま尾根越えの車道を横切り、続いて鶴川台尾根緑地の散策歩道に入ると、心地よい木漏れ日の雑木林です。ここを抜けると眺望はさらに開け、折からの晴天に目眩がするほどダイナミックな景観に圧倒されます。その広がりは多摩丘陵でも有数との評判に納得です。再度車道を横切り、やがて道は

真光寺緑地の林の中へ。

右手には小さな休憩展望広場があり、コンピューター関連のマイコンシティや若葉台の高層マンションが望めます。道は真光寺公園の縁を回って広場へ。

昼食のあと能ヶ谷の旧白洲邸を出て3時間あまり。 正子は著書「かくれ里」でも、取材目的の村里を訪ねる際など、つい興味をひかれた場所に迷い込み、その結果、予期しない発見をする楽しさに触れています。 それこそフットパスの魅力です。ひょっとして彼女もこの道を歩いたかもしれないと思えてきました。

起伏を生かした広大な芝生には、伸びやかに枝を広げた樹木が点在して木陰を作り、のんびりと寛ぐ家族連れやはしゃぐ子どもたちの声が遠く近く聞こえて来ます。秋の日は短い。早くなった日暮れの気配に、足を動かした心地よい充足感を感じながら、鶴川行きの真光寺公園バス停に急ぎました。

真光寺周辺は鎌倉街道早ノ道、軍事戦略鎌倉道などが錯綜しているとされ、布田道は尾根伝いに小野路へと繋がっています。この多摩丘陵には多くの古街道が息づき、また眠っているといわれています。今後、さらに魅力的な歴史フットパスが期待できそうです。

(横山 禎子)



香山園(かごやまえん)

サザンカとキヅタ





竹林と小さな祠

武相荘の散策路





クサギの実

広袴神明社

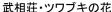




古民家·石川邸

武相荘・門の後ろにカキの大木







武相荘・骨董市にて









真光寺公園



鶴川台尾根緑地からの眺望

秋のあきる野市 古刹の広徳寺・大悲願寺と 里山の小峰公園、横沢入を歩く

11月16日(土) 天気:晴 参加者:3名 講師:田邊 博仁(みどりのゆび)

武蔵五日市駅からスタート、秋川の川岸(秋川橋~ 小和田橋)を歩く。鮎釣りやバーベキューで人気の場 所だったが、台風 19 号の被害により遊歩道が閉鎖、 回復工事が進行中であった。五日市盆地西縁の秋川右 岸山麓にある広徳寺 (1373年) を参拝する。安土桃山 時代の様式である茅葺きの山門が素晴らしい。加えて、 堂々たる風格の総門と2本の大銀杏の黄葉が、この寺 の人気風景で、多くの人が訪れていた。都立小峰公園 を経由して、横沢丘陵の秋川左岸にある大悲願寺を参 拝する。樹齢 500 年を超える大杉に護られた桜門と天 井絵、地獄と極楽が彫刻された観音堂、伊達政宗白萩 文書と白萩が有名な寺院である。続いて雑木林に囲ま れた谷地、棚田と湿地が広がる東京都第一号の「里山 保全地域」横沢入を歩き、武蔵増戸駅から帰途につい た。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 11 月 25 日を ご覧ください。



秋川





大銀杏をバックに



大悲願寺の観音堂の彫刻



横沢入里山保全地域

鎌倉の紅葉を歩くI 一条恵観山荘、報國寺、浄妙寺・石窯ガーデンテラス

12月7日(土)

天気:弱雨のち曇 参加者:8名

講師:田邊 博仁(みどりのゆび)

鎌倉の静かな北東エリア・金沢街道(六浦路)の紅 葉を巡りました。スタートは生憎の弱雨でしたが、し っとりと濡れたモミジの紅葉も素敵でした。浄明寺バ ス停で降り、金沢街道を2分ほど歩くと、2017年7月 より一般公開されている「一条恵観山荘」に到着です。 京都西加茂から移築・復元された江戸時代初期数寄屋 造りの優れた建物と庭石や枯山水の京都風庭園、脇を 流れる滑川が落ち着いた美しい景観を醸し出してい ました。

次に、「竹のお寺」で有名な「報国寺」へ。京風とは 違った禅宗庭園、足利一族の墓と新田義貞の鎌倉攻め の際、由比ヶ浜での戦死者を埋蔵した五輪塔には歴史 を思い起こさせられました。金沢街道へもどり、大き な「起こり屋根」が迎える浄妙寺へ。かつては鎌倉五 山第五位の大寺院、付近の地名の浄明寺からも伺えま す。ここでは、珍しいお寺さんの境内レストラン、「石 窯ガーデンテラス」で楽しいランチタイム。土曜日・ 雨なので相当混雑を予想しましたが、なんと2階を貸 切状態で使わせていただき、ゆっくりとワインと食事 とおしゃべりができました。ここはイングリッシュガ ーデン、庭の隅っこに可愛らしくスノードロップが咲 いていました。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 12 月9日 をご覧ください。



一条恵観



山荘庭園の紅葉



浄妙寺境内



ご参加いただいたみなさま

鎌倉の紅葉を歩くⅡ 杉本寺、護良親王陵墓、瑞泉寺、永福寺跡、鎌倉宮

12月7日(土) 天気:弱雨のち曇 参加者:8名

講師:田邊 博仁(みどりのゆび)

浄妙寺からむかしの道の向小路をぶらぶら歩き、杉 本寺の参道の階段前へ。当初、急階段でもあり、拝観 予定ではなかったのですが、"ぜひ、観たい"との希望。 すり減って苔むした美しい階段に鎌倉最古の寺の歴 史を感じ、さらに、本堂内では行基が自ら刻んだ十一 面観音などが間近で見られ、鎌倉随一の仏像群に圧倒 されたお寺さんでした。しばらく二階堂の小径を歩く と、正面に護良親王の陵墓の階段が見えてきました。 ここは宮内庁の管理です。いよいよ紅葉の名所、紅葉 ヶ谷、錦屏山瑞泉寺へ向かいます。ここは鎌倉で一番 遅い紅葉(冬紅葉)と言われていますが、まだ、早か ったようです。夢窓疎石が瑞泉寺を起こしたときに作 られた庭園は、見事なものでした。鎌倉時代の唯一の 庭園で、昭和44~45年に発掘復元されたました。 ふたたび、二階堂小路をもどり、2017年6月から史跡 公園として公開された永福寺跡を見て、鎌倉宮へ。大 塔宮(鎌倉宮)からバスで鎌倉駅へ戻り、解散いたし ました。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 12 月 10 日をご覧ください。



杉本寺の階段



本堂では仏像群が見られる



瑞泉寺の庭園



庭園内の梅

町田まちなかツアー

12月8日(日)天気:晴 参加者:10名 講師:宮田太郎(古街道研究家)

昨日とは打って変わって穏やかな小春日和。来年2月に行われる日本フットパス協会10周年記念、東京町田大会の1コース「町田の商店街の老舗店と歴史ある古街道を歩く」の下見を兼ねての散策です。

まず小田急線町田駅前カリヨン広場からの出発。第一踏切の左を斜めに入る道は鎌倉古道山ノ道。この先は秩父から群馬に繋がっているらしい。「ブラたもり」ではないが、土地の高低差をチェックしながらタチ山の場所を確認。普段利用しているのに気がつかなかったが、町田駅から玉川学園方面は急な下り坂になっているのが良くわかる。シバヒロ広場から今度は奥州にも繋がっていたという鎌倉街道早ノ道を辿って二叉路に出る。ここからが昔からの商店街。絹の道と言われる、八王子から横浜に繋がる道の中間に位置している。ベアトや明治・大正・昭和の写真と今の道を見比べながら変遷を確認する。浄運寺・ぽっぽ町田の骨董市・勝楽寺・町田天満宮に立ち寄って今日の散策は終了。

最後に忘年会を兼ねて新しくできた「STRI」というレストランで遅めのビュッフェランチ。いまどきのおしゃれなお店でなかなか予約出来ないらしい。このビルは最近出来たもので、4階に若い起業家のためのコワーキング&シェアオフィス、6階にインターネットカフェが入っていて、もしかしたら六本木ヒルズの町田仕様ミニ版?と、連想してしまった。

町田は駅前の都会と、そこから車で15分の場所にある「みどりのゆび」の拠点でもある隠れ里の様な里山が隣り合っている。今日の散策でも、古くから続いてがんばっている乾物屋さん、お肉屋さん、古着屋さん、仲見世通りのお店屋さんと、このレストランビルのように新しい若者向けのお店が隣り合っている。しかもそれが面白いカオスを醸し出している。あらためて、町田は異質なものを融合させるエネルギーを内包し、新しい魅力を生み出していく町だと実感した。

この次は夜の散策をしたいという要望もあって期 待したい。

(N. K)



商店街 二六の市碑前



二叉路 右鎌倉古道早ノ道 左鎌倉古道山ノ道

他地域・大学からの視察訪問

南魚沼市より、町田のフットパス視察研修 の事前訪問~小野路宿コースをご案内

10月23日(水) 天気:快晴 参加者:7名 講師:田邊 博仁(みどりのゆび)

新潟県南魚沼市では地域活性化の取り組みとしてフットパスを活用するため、11 月に"行政と地域合同の視察研修"(約30名)で町田のフットパスの体験に来られる。その事前訪問(5名様:新潟県南魚沼市浦佐地区)があり、小野路宿里山交流館にて打ち合わせ後、昼食、小野路宿コースをご案内しました。

南魚沼市浦佐地区では、フットパスコース作りを始めており、日本フットパス協会とみどりのゆびのメンバーで、2015年に一度、訪問しています。今日は朝から快晴。スタートは小野路宿通り。小島資料館、関屋の切通、みどりのゆびの町田市から管理委託の竹林、緑地と再生した休耕田、気持ちの良い多摩丘陵の緑と畑の道、ムクロジの実の石鹸作り実験、鎌倉古道、多摩のよこやまの道、一本杉公園、鎌倉街道を順次ご案内しました。お土産のクッキーがいいですね。

(田邊 博仁)

詳細は NPO 法人「みどりのゆび」の facebook ページ 10 月 24 日を御覧ください。



視察のみなさま



関屋の切通



旧鎌倉街道



お土産のクッキー

理事会・総会・その他

理事会•総会

9月29日(日)

今年の理事会、総会は、担当だった尾留川副理事 長が病気になり、経理面で空白ができてしまい、開 催が遅くなってしまいました。

幸いなことに高見沢理事長から眞島税理事務所 をご紹介いただき、大変よくご指導をいただくこと ができまたし。無事きちんと経理処理していただき、 9月29日に町田市民文学館「ことばらんど」にて理 事会、総会を開催いたしました。

今年は赤字の解決策については、経費削減として、販売物品(マップ)の適正在庫により無駄を省くこと。また、IP のスリム化により IP の管理費を削減するなどを図ること。収入源のさらなる確保策として、助成金や寄付金の増加を計りたく、理事や会員の方々からのご協力をお願いしたいなど。また今後の方針としては、地元と協力してフットパスの輪をあちこちの里山から中心市街地までさらに拡大強化していきたいなどの意見が交換されました。

(神谷 由紀子)





新たに草木塔が建立

5月18日(土)

本会のフィールドである町田市小野路で「草木塔」の建立式が行われました。東京にあって都市計画を変更して緑を残すことに住民が決めた小野路で、その地主さんたちが草木塔を建立するということは本当に感慨深いものがありました。

草木塔とは、仏教で「自然の恵みに感謝し、草木にも命があり、それを絶って我々は生かされている」という思想に基づいて建てられる石造の草木供養塔です。元々は、米沢藩主上杉鷹山が、江戸藩邸や米沢市内で大火があった後に大量の樹木を伐採したことに対する感謝の念で1780年に建てたものが始まりとされています。したがって山形県置賜地方に最も多く、100基以上の草木塔があり、フットパスの仲間である川西町や長井市にもあります。山形を含めて全国で200基ほどが見つかっており、東京にも10基以上発見

されています。

なぜ小野路で草木塔が新たに建てられることになったかというと、この度、小野路で 1740 年 (元文年間) 頃に建てられた草木塔が、いまだに東京で養蚕を続けている嶋野幸夫さんの屋敷で発見されたのです。上杉鷹山の草木塔が 1780 年建立だということであると、この嶋野さんの草木塔が日本で一番古いものということになります。

「浅間山噴火、百姓一揆、イナゴの大発生など、小野路でも食糧事情が悪く苦労した時に建てられたもの」と小野路の「草木塔を建てる会」の小島政孝会長は推察されています。「飢饉のときには山野に自生する草や木から食物をとり命をつないできた。小野路村の面積の半分は山林であり、雑木林が多く、大量の炭を江戸に運んだり、繭を作ったりして生活してきました。これらは重要な産業であり、過去のこととして今は忘れられているが、自然の恩恵に感謝することは未来に向けて伝えていかなければならない大切なメッセージです」。

今回、元副市長の高山氏からの提案を受けて、小島会長以下地主さんたちの協力や石材の寄付などがあって、「草木塔を建てる会」が組織され、草木塔の建立にいたりました。

よそ者の私も小野路の方々のご厚意で「草木塔を建てる会」に入れていただけたので、草木供養祭に参加することができました。

フットパスの仲間である長井や川西とも共有する 先人の知恵に触れて、今更ながらいろいろ感じいると ころがありました。

(神谷 由紀子)



小島政孝会長



草木供養祭に参加



里山保全活動

6月23日(日)

緑地の原っぱは、日頃石垣さんが手入れをして下さっているので、この日は草刈りをしなくても済みました。ただ案の定、水辺でブタクサがのびのびと育っていて、これは種を飛ばす前に抜いてしまわないと、翌年厄介な事になります。神谷さんと二人で、隣の敷地の分まで次々と抜きました。茎を持って引っ張ると面白いように根っこごと抜けます。1時間半程で作業を終えました。









環境教育

さとやき秘密基地づくり

-親子自然体験活動-



今年で4年目になり、多くの方が参加するようになりました。町田市小野路は、東京の都心から近いところにありますが、豊かな自然が残されています。参加される皆さんには、里山の自然でいろいろな遊びを体験していただき、人と自然の関わりについて考え、今後も大切にしていこうという気持ちを育てています。

この活動は「子どもゆめ基金」の助成を受けて実施 しています。

3月30日(土) 天気:晴 参加:10家族28人 春の里山探検とたけのこ掘り。コブシ、ヤマザクラ、 菜の花が咲いている里山を15分くらい探検して、竹 林に到着しました。参加した子どもも大人も「たけの こ掘り」は初めてです。鍬とスコップを使って、汗を たくさんかいて大きなたけのこを掘り出しました。

たき火をしました。雑木林の中から木の枝を集めて、 新聞紙 1 枚とマッチで火を起こします。たけのこと里 芋とサツマイモを焼いて食べました。





4月27日(土)天気:曇のち雨 参加:2家族4人 実施の連絡が遅かったこと、GWの連休に入ってしまったことなどの理由から少ない人数で実施しました。立木にロープをかけてブランコや、丸太を運んできて滑り台?を作りました。こんなモノでも充分に楽しく遊べました。お昼は山菜の天ぷら。春の七草やたけのこをとって食べました。







7月26・27日(金・土) 天気:晴

参加:12家族45人

夏の里山は何といっても昆虫採集です。クワガタやカブトムシが捕れればもらえるので、たくさんの家族が参加してくれました。数日前から仕掛けておいた「虫取りトラップ」を見て回り、カブトムシやクワガタ、カナブンがたくさん入っているところを見つけました。

みんなで山分けします。しかし、自分の手でつかん で虫かごに入れないともらえません。お母さんやお父 さんに捕まえて貰うことはできません。勇気を出して つかんでいました。









11 **月 16 日**(土) **天気:晴** 参加:7家族 16 人 秋は草むらでバッタとコオロギ取り。広い田圃や空 き地を走り回っていました。

パチンコを作りました。二叉の枝を探して、ゴムを結びます。玉はどんぐりです。コナラやクヌギ、アラカシなどのどんぐりをいっぱい拾いました。的は大きな鍋と蓋です。当たればカーンといい音がします。

お昼は、山から木の枝を集めてたき火をしました。 焼き芋とマシュマロ焼きをしました。

(小林 道正)













NPO法人「みどりのゆび」2020年 1~4 月フットパス・スケジュール

持ち物:弁当、水筒、雨具、 参加費:会員 1000円 非会員 1500円 (イベントによって変更あり)

- ●暫定ですので、今決定しているものだけをお届けします。1 月にまた新しいスケジュールを配布します。
- ●申し込んでも事務局から何も連絡がない場合には、再度お電話などご連絡ください。

メール:info-m@midorinoyubi-footpath.jp 電話:042-734-5678 FAX:042-734-8954

携帯:080-5405-3904(神谷携帯)

1月11日(土)

『三輪:白洲正子の愛した散歩道』

【集合】小田急線 【内容】2 月 9 日の町田大会の下見です。

町 田 駅 鶴 川 駅 北 | 正子を初め文人が好んだ三輪の里は古墳など大和時代のよすがの残る桃源郷です。

改札口 9:00AM

【講師: NPOみどりのゆび 桑原秀夫】

9:10のバスに乗り ます

鶴川駅 9時10分発のバスの次が9時50分なので、10分発としたい。

鶴川駅 → 妙福寺前 → 山谷谷戸 → 下三輪玉田谷戸横穴墓群→ 都県境尾根 → 三輪ビ 【昼食】昼食(武相 | ジターセンター(休憩・トイレ)→ 妙福寺 → 椙山神社 → 白坂横穴墓群 → 三輪の里山→ 高

蔵寺(休憩・トイレ) → 昼食 →午後は鶴川の古民家を回ります。

1月0日(0)

荘などで)

山交流館

『日本の里 100 選に唯一東京から選ばれた里山・小野路』

【集合】小田急線 町田駅鶴川駅北 改札.口 9:00AM

【昼食】小野路里

【内容】】2月9日の町田大会の下見です。町田を有名にした日本を代表する里山地域。新宿より電車 で30分で「ここは本当に東京?」と外国人にも大人気の日本の原風景が広がります。

【講師:NPOみどりのゆび 吉森実】

御興味のある方は 事務局まで申し込

したらご連絡します

【コース】野津田駐車罵一里塚→乗越塚尾根→小町井戸→小野路城址→奈良ばい谷戸 →見晴ら し台→牧場→万松寺→小野神社→交流館(昼食)午後→中宿→切通し→別所谷戸周辺(フット

みを。日時が決定

パス管理用地を丁寧に)→布田道→別所バス停

2月8、9日(土、 日)

『歩こう・ニッポン!歩こう・まちだ!』

【日本フットパス協会設立 10 周年記念 一般参加可】

【内容】8 日はシンポシウム(トークショー)、9 日はフットパス

御興味のある方は 事務局まで申し込 <u>みを。</u>

添付資料参照

参加者、サポーター募集

3月1日(日)

『西荻・旧井荻町(村)を巡る』

【集合】JR荻窪駅

【講師: NPOみどりのゆび 岩崎英邦】

東口(地下の改札

【内容】】吉祥寺、荻窪を歩ましたが、この西荻を入れてこれで3つの駅が繋がりました。西荻はどんなまち

口外)9:30AM

なのでしょう。

【昼食】は未定

3月28日(土)

『巣鴨。王子の今と昔を歩く』

【集合】JR巣鴨

【講師:みどりのゆび 鈴木由美子】

駅改札口(一か【内容】巣鴨駅~徳川慶喜記念碑~とげぬき地蔵~都電荒川線で庚申塚~飛鳥山~王子神社~ 所のみ) 10:00 │ 名主の滝公園~装束稲荷~駒込駅)(コース変更可能性あり)

【昼食】は王子駅 近くの、北トピアの

17 階の山海亭

4月3日(金)

【集合】小野路「別

所」バス停

10:00AM

【会費】1500円

保険・昼食代込み

申込締切:3 月 28

日

『小野路里山交流館行事』

【講師:田邉博仁】春の小野路の里山めぐり

【内容】毎年恒例の小野路里山交流館行事の春の里山めぐりです。

【コース】:「別所」バス停(10:00)~布田道~小野路の里山~小野路里山交流館(昼食)~小野路城跡~ならばい谷戸(15:00頃)

- ・鶴川駅5番乗り場 桜 24 聖蹟桜ヶ丘駅行 瓜生・永山五丁目(鶴川駅発) 9:42→9:54(別所着)多 04 多摩センター駅行 豊ケ丘四丁目(鶴川駅発) 9:23→9:35(別所着)
- ・多摩センター駅8番乗り場

多 04 鶴川駅行 豊ケ丘四丁目(多摩センター駅発) 9:30→9:47(別所着)

NPO法人「みどりのゆび」2020年1~4月CSAスケジュール

★日時変更になる恐れがありますので、必ず事務局に確かめてからお出かけください。

「緑と農の管理」 持ち物:弁当、水筒、軍手、長靴(必要なら) 2020 年 1/12(日) 竹林整備 2/1(土) 恵泉 餅つき 10:00~ 一本杉公園古民家にて 2/23(日) 竹林整備 3/7(±)緑地整備 竹林(筍伐採) 4/5(日) 竹林(筍伐採) 4/12(日) 4/19(日) 竹林(筍伐採)

